#### 研究成果報告書 科学研究費助成事業

今和 6 年 6 月 1 9 日現在

機関番号: 16101

研究種目: 基盤研究(C)(一般)

研究期間: 2019~2023

課題番号: 19K04769

研究課題名(和文)縮小均衡状態の打開から始まる多様な自治システムの導入プロセスの構築

研究課題名(英文)Building a process to introduce a diverse system of self-governance, starting with a breakthrough in the state of shrinking equilibrium.

#### 研究代表者

田口 太郎 (TAGUCHI, Taro)

徳島大学・大学院社会産業理工学研究部(社会総合科学域)・教授

研究者番号:20367139

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 3.300.000円

研究成果の概要(和文):人口減少が進む多くの地域では「諦め感」に代表されるような思考停止が広がり、新しい取り組みの検討することも困難となってきている。そこで、本研究では先導的な集落ではない一般集落において、1.地域が主体的に住民自治を再構築するための検討の枠組み、および2.縮小均衡状態にある集落が主体的に動き出すための手法を開発することを目的として研究を進めた。

結果、縮小均衡状態を打開するための手法として「先よみワークショップ」を開発し、複数地域での実証を行っ

結果として、縮小均衡を打開し、住民活動に至るプロセスを提示し、さらにその実践を県レベルでの施策として 兵庫県が実施するに至っている。

研究成果の学術的意義や社会的意義 我が国の地域づくりでは、キーパーソンによる主体的な初動がなくては地域が動き出すきっかけすらなかったのが現状である。そこで、本研究では地域が置かれている「縮小均衡状態」を打開するということに強い意識をおき、その方法としての集落点検や一連のワークショップを開発したことは、人口急減を迎え、さらに団塊世代が後期高齢者となることで、急速に衰退が進むと思われる過疎地域において重要な手法を開発したと言える。一方で、新型コロナウィルス感染症の感染拡大により、広く普及させることができなかった。また実施にあたっては行政などの協力が必要であるが、行政による重要性の認識が十分に広がっていない点にも課題が残ってい

研究成果の概要(英文): In many communities with declining populations, a "sense of resignation" has spread, and it has become difficult to consider new initiatives. Therefore, this study was conducted with the following objectives: 1) to develop a framework for local communities to proactively rebuild self-governance, and 2) to develop a method for communities in a state of shrinking equilibrium to proactively take action.
As a result, we developed the "Sakiyomi Workshop" as a method to break out of a state of shrinking

equilibrium, and conducted demonstrations in several areas.

As a result, the process to break out of the shrinking equilibrium and to initiate residents' activities was presented, and the implementation of the process is now being carried out by Hyogo Prefecture as a prefectural-level policy.

研究分野: 地域計画

キーワード: 縮小均衡状態 地域の衰退 住民主体の地域づくり ワークショップ 主体性の醸成

#### 1.研究開始当初の背景

# (1)高齢化の進行と担い手の状況変化

人口減少局面に突入し、市町村合併も進む中で行政による団体自治の衰退は止まっていない。 一方で、農山漁村を始めとした過疎地域における住民自治については高齢化が進みつつも、地域 の有志によって支えられてきた。故に「消滅集落は本当に生じているのか」といった問題提起も なされてきている<sup>文1</sup>)。しかし、集落での高齢化は着実に進んでおり、現在でも集落の主要なア クターである団塊世代が 2022 年に 75 歳を超え始めるなかで、団塊世代に依存する住民自治の 仕組みも限界が見えつつある<sup>文2</sup>)。

文献 1) 限界集落の真実, 山下祐介, ちくま新書, 2012年1月

文献 2) 住民による主体的まちづくりを初動させる「先よみワークショップ」の開発, 田口太郎,日本建築学会技術報告集(審査付き),2019 年 2 月

# (2)ネットワーク型自治による集落維持

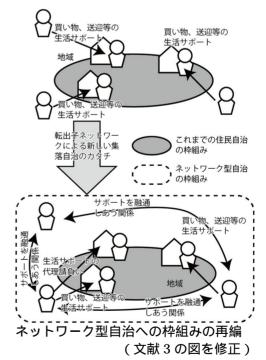
住民自治の担い手は文字通り「住民」であったが、道路インフラの整備が進んだ現代では地域に居住しない転出子などが集落維持に深く関わっているケースが出現しており、こうした外部支援者も含めた住民自治の姿を研究代表者は「ネットワーク型自治」と呼び、その具体化について検討してきた <sup>1文3</sup>。このような非居住の担い手として「関係人口」に注目が集まっているが、担い手であるかどうか、の判断は集落それぞれによって異なってくる。故に、集落における住民自治の中に非居住の担い手を位置づける際には集落の主体的な意思が求められる。

1 科研費・基盤研究 (C), 地域を核としたネットワーク型自治の構築, 2016.4.1-2020.3.31, 代表: 田口太郎

文献3)「ネットワーク型自治」の可能性,<u>田口太郎</u>,2017年度日本建築学会大会(中国)農村計画部門研究協議 会資料「住み継がれるカタチ 限界の先へ住み継ぐ」,審査なし、pp.45-46,2017年9月

## (3) 主体性の低い地域での検討の必要

こうした新しい取り組みは往々にして危機感の高い地域/集落や、強いリーダーシップのもとで進められることが大半である。しかし、危機感を持ちつつも「諦め感」が広がっている集落や強いリーダーが存在せず、地域の課題認識や住民自治の再検討に向けたドライビングフォースを持たない地域やリーダーや担い手が散在していることで連携が履かれていない地域も多々存在する。こうした地域では地域の主体性に依存した地域づくりに限界があり、何らかの外的なきっかけづくりが必要となる<sup>×4</sup>)。過疎化の進む集落においては集落の状況シミュレーションを通じて課題認識を経て住民自治について検討する連続ワークショップを開発した<sup>×2</sup>)。過疎高齢化による住民自治の衰退に起因する集落維持の課題は、今後こうしたドライビング



フォースを持たないような集落でより深刻化することが予想される。

文献4)まちづくり活動主体の自立プロセスと自治体シンクタンクの役割に関する研究: <u>田口太郎</u>、後藤春彦,日本建築学会計画系論文集(審査付き),No.587,2005年1月

# 【研究課題の核心をなす学術的「問い」】

過疎高齢化の進展は全国の多くの地域が直面する課題であるが、実際に対策に乗り出せる 地域は何らかのドライビングフォースを持つ地域である。こうした先導力の低い地域でも 具体的に検討するに至るような枠組みを示す必要がある。地域づくりの気運の低い地域で も住民が自地域の課題認識をした上で、これからの集落維持の方策についてネットワーク 型自治も含めた戦略づくりができるような枠組みの提示が必要である。

#### 2.研究の目的

本研究では、過疎高齢化が進みつつも将来的な集落対策の検討が出来ていない地域、あるいは エリアをモデルとして、研究を進める。具体的には以下の3項目を目的とする。

- (1) 縮小均衡状態にある地域における「先よみワークショップ」などの将来課題提示プログラムの妥当性を明らかにする
- (2) 縮小均衡状態が打開され、将来に向けた検討を始めた集落にとって、どのような点が 有効であったのかを明らかにする
- (3) ネットワーク型自治の成果と課題、およびその他の住民自治の形態をモデル化する

#### 3.研究の方法

(1)「先よみワークショップ」の実施及び検証

地域づくりの気運が十分に上がっていない地域において各行政との連携の下で開発した「先よみワークショップ」を始めとした地域状況を理解し、課題解決の検討を図るワークショップなどを実施し、手法の課題整理を行う。

(2)縮小均衡状態の打開要因の分析

縮小均衡状態が打開された地域においてどのような働きかけが有効に機能したのか、その成果と課題を整理し、縮小均衡状態を打開するための要件整理を行う。

また、前年に取り組んだワークショップ実施地域において自治モデルの提示などを行い ながら、地域状況と自治モデルの関連性の評価を行う。

(3)縮小均衡状態打開から自治システム導入に至るプロセスの検証と提示 これまでの研究を踏まえ、縮小均衡状態からその打開、検討、自治システムの構築に至 るプロセスと具体的な検討の枠組みをガイドラインとして作成・検証し、広く社会に還 元する。

#### 4. 研究成果

# (1)「先よみワークショップ」の有効性

縮小均衡状態にある地域に対して、ワークショップなど住民自身が手を動かすことによって集落の将来状況を整理することは、住民自身が地域の状況変化について強く自覚するうえでも有効であることが確認できた。一方で、当初は居住者のみの状況変化を視覚化していたが、定期的に訪れたり、地域への貢献度の高い親族など外部主体も同様に位置づけることが有効であることがわかった。

## (2)地域における役職の整理の必要性

集落の状況のみならず、地域には多くの役職や出ごとがあり、これらは必ずしも住民間で共有されていないこともあることから、町内会役員などへのヒアリングなどを通じて、地域の役などを整理して、その統廃合についても検討することの必要性も確認できた。また、役の整理にあたっては「集落の教科書」など、既往の手法が一定程度有効であることも確認できた。

# (3)地域の包括支援プログラム

縮小均衡状態にある地域に対しては地域側からの発意が起こりにくいため、行政側からの働きかけが必要であり、その際には地域の役職者などにわかりやすく地域の方向性について説明することで同意を得る必要がある。また、その際には自治体の人口動態ではなく国勢調査の小地域データなどを用いて、より生活圏レベルでの人口構造変化や日常の変化の可能性に言及しながら説明をすることで地域の理解を得ていくことが有効であることがわかった。

# 5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計31件(うち査読付論文 4件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 4件)

1.著者名 田口 太郎	4.巻 162
2.論文標題 地域コミュニティにおける「人口」の意味を再考する	5 . 発行年 2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
まちむら	33-36
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名	4 . 巻
田口 太郎	163
2.論文標題 人口減少する地域コミュニティと地域の自治	5 . 発行年 2023年
3.雑誌名 まちむら	6.最初と最後の頁 33-36
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 田口 太郎	- 4.巻 32
1 . 著者名	_
1 . 著者名 田口 太郎 2 . 論文標題	5 . 発行年
1 . 著者名         田口 太郎         2 . 論文標題         持続可能なまちづくり         3 . 雑誌名	32 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名         田口 太郎         2 . 論文標題         持続可能なまちづくり         3 . 雑誌名	32 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 田口 太郎         2 . 論文標題 持続可能なまちづくり         3 . 雑誌名 地域づくり in ほくりく         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス	32 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 2-3
1 . 著者名 田口 太郎         2 . 論文標題 持続可能なまちづくり         3 . 雑誌名 地域づくり in ほくりく         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	32 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無
1 . 著者名 田口 太郎         2 . 論文標題 持続可能なまちづくり         3 . 雑誌名 地域づくり in ほくりく         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス	32 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無
1 . 著者名 田口 太郎         2 . 論文標題 持続可能なまちづくり         3 . 雑誌名 地域づくり in ほくりく         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	32 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無 国際共著
1 . 著者名 田口 太郎         2 . 論文標題 持続可能なまちづくり         3 . 雑誌名 地域づくり in ほくりく         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 田口 太郎         2 . 論文標題	32 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 164 5 . 発行年
1 . 著者名 田口 太郎         2 . 論文標題 持続可能なまちづくり         3 . 雑誌名 地域づくり in ほくりく         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難         1 . 著者名 田口 太郎	32 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無 国際共著
1 . 著者名 田口 太郎     2 . 論文標題 持続可能なまちづくり     3 . 雑誌名 地域づくり in ほくりく     掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし     オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難      1 . 著者名 田口 太郎     2 . 論文標題 激変する社会状況下でのコミュニティ     3 . 雑誌名	32 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 164 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 田口 太郎         2 . 論文標題 持続可能なまちづくり         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 田口 太郎         2 . 論文標題 激変する社会状況下でのコミュニティ	32 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 164 5 . 発行年 2023年
<ol> <li>著者名 田口 太郎</li> <li>論文標題 持続可能なまちづくり</li> <li>地域づくり in ほくりく</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>著者名 田口 太郎</li> <li>論文標題 激変する社会状況下でのコミュニティ</li> <li>雑誌名 まちむら</li> </ol>	32 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 164 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 44-47
<ol> <li>著者名 田口 太郎</li> <li>論文標題 持続可能なまちづくり</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセス</li> <li>著者名 田口 太郎</li> <li>論文標題 激変する社会状況下でのコミュニティ</li> <li>雑誌名</li> </ol>	32 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 164 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁
<ol> <li>著者名 田口 太郎</li> <li>論文標題 持続可能なまちづくり</li> <li>地域づくり in ほくりく</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>著者名 田口 太郎</li> <li>論文標題 激変する社会状況下でのコミュニティ</li> <li>雑誌名 まちむら</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)</li> </ol>	32 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 164 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 44-47

1.著者名	4 . 巻
田口 太郎	165
A A A LITTI	= 7V./= hr
2.論文標題	5 . 発行年
ICTの活用も含めたネットワーク型自治	2023年
	6.最初と最後の頁
まちむら	33-36
7 2 A 2	33-30
49 #8*A - 0 00 L / =** * 6 L + 40 DU 7 \	****
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
佃 紗也香,田口 太郎	-
2.論文標題	5.発行年
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
地元の認識度と地元評価の関連性に関する研究	2023年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
農村計画学会2023年秋期大会学術研究発表会梗概集	7-8
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
石神 菜友,田口 太郎	-
2.論文標題	5.発行年
漁村地域における超小型車両を用いた高齢者のための移動支援サービスの効果に関する研究	2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
農村計画学会2023年秋期大会学術研究発表会梗概集	65-66
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
助野 理音奈,田口 太郎	-
2	5 78/-/T
2. 論文標題	5.発行年
小人口地域における地域の負担に配慮した芸術祭の在り方に関する研究	2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
農村計画学会2023年秋期大会学術研究発表会梗概集	37-38
MINING TO THE PROPERTY OF THE	0. 00
세탁스는 ADAL ( 로 가 시 나 로 가 시 나 하다 기 )	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1.著者名	4.巻
田口 太郎	64
2.論文標題	5.発行年
コロナ禍後の地域おこし協力隊と関係人口	2022年
	2022
	6.最初と最後の頁
月刊自治研 2022年 4 月号	25-34
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
カーブン・アード というにはない、人はカーブン・アードの知	
4 ***	4 24
1 . 著者名	4 . 巻
山下 真美,田口 太郎,森田椋也	20
2.論文標題	5.発行年
	2022年
スロススにのいて心みのことはガルカ コニッ・ノン以前して ツホロにはする 別九	2022T
2 http://	6 見知を見後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本災害復興学会論文集	30-39
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
	- F
オープンアクセス	国際共著
	<b>国际共有</b>
	_
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
オープジアクセスではない、又はオープジアクセスが困難  1.著者名	4 . 巻
1 . 著者名	4. 巻
	_
1.著者名 田口 太郎	-
1 . 著者名 田口 太郎 2 . 論文標題	5 . 発行年
1.著者名 田口 太郎	-
1 . 著者名 田口 太郎 2 . 論文標題 少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり	- 5.発行年 2022年
1 . 著者名 田口 太郎 2 . 論文標題 少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 田口 太郎 2 . 論文標題 少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり	- 5.発行年 2022年
1 . 著者名 田口 太郎 2 . 論文標題 少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
1.著者名         田口 太郎         2.論文標題         少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり         3.雑誌名         2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」	5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
1.著者名         田口 太郎         2.論文標題         少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり         3.雑誌名         2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」	5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
1.著者名 田口 太郎         2.論文標題 少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり         3.雑誌名 2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 20-23
1.著者名         田口 太郎         2.論文標題         少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり         3.雑誌名         2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 20-23
1 . 著者名 田口 太郎  2 . 論文標題 少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり  3 . 雑誌名 2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 20-23 査読の有無 無
1 . 著者名 田口 太郎  2 . 論文標題 少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり  3 . 雑誌名 2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 20-23
1 . 著者名 田口 太郎  2 . 論文標題 少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり  3 . 雑誌名 2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 20-23 査読の有無 無
1 . 著者名 田口 太郎         2 . 論文標題 少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり         3 . 雑誌名 2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 20-23 査読の有無 無 国際共著
1 . 著者名 田口 太郎  2 . 論文標題 少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり  3 . 雑誌名 2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 20-23 査読の有無
1 . 著者名 田口 太郎     2 . 論文標題     少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり     3 . 雑誌名     2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難     1 . 著者名	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 20-23 査読の有無 無 国際共著
1 . 著者名 田口 太郎         2 . 論文標題 少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり         3 . 雑誌名 2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 20-23 査読の有無 無 国際共著
1 . 著者名 田口 太郎         2 . 論文標題 少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり         3 . 雑誌名 2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 山本 朋佳,田口 太郎	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 20-23 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻
1 . 著者名 田口 太郎     2 . 論文標題 少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり     3 . 雑誌名     2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」     掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし     オープンアクセス     オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難     1 . 著者名 山本 朋佳,田口 太郎     2 . 論文標題	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 20-23 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年
1 . 著者名 田口 太郎         2 . 論文標題 少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり         3 . 雑誌名 2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 山本 朋佳,田口 太郎	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 20-23 査読の有無 無 国際共著
<ul> <li>1 . 著者名 田口 太郎</li> <li>2 . 論文標題 少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり</li> <li>3 . 雑誌名 2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1 . 著者名 山本 朋佳,田口 太郎</li> <li>2 . 論文標題 少人数社会における交通事業の持続可能な運営に関する研究</li> </ul>	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 20-23 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年
1 . 著者名 田口 太郎     2 . 論文標題 少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり     3 . 雑誌名     2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」     掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難      1 . 著者名 山本 朋佳,田口 太郎     2 . 論文標題	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 20-23 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年
1 . 著者名 田口 太郎         2 . 論文標題 少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり         3 . 雑誌名 2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 山本 朋佳,田口 太郎         2 . 論文標題 少人数社会における交通事業の持続可能な運営に関する研究	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 20-23 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年
1 . 著者名 田口 太郎     2 . 論文標題 少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり     3 . 雑誌名     2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」     掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし     オープンアクセス	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 20-23 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 田口 太郎     2 . 論文標題 少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり     3 . 雑誌名 2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」     掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし     オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難     1 . 著者名 山本 朋佳,田口 太郎     2 . 論文標題 少人数社会における交通事業の持続可能な運営に関する研究     3 . 雑誌名	- 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 20-23 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 田口 太郎     2 . 論文標題     少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり     3 . 雑誌名     2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」     掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし     オープンアクセス     オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難      1 . 著者名     山本 朋佳,田口 太郎     2 . 論文標題     少人数社会における交通事業の持続可能な運営に関する研究     3 . 雑誌名     2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」	
<ul> <li>1 . 著者名 田口 太郎</li> <li>2 . 論文標題 少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり</li> <li>3 . 雑誌名 2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス</li> <li>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1 . 著者名 山本 朋佳,田口 太郎</li> <li>2 . 論文標題 少人数社会における交通事業の持続可能な運営に関する研究</li> <li>3 . 雑誌名 2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)</li> </ul>	
1 . 著者名 田口 太郎     2 . 論文標題     少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり     3 . 雑誌名     2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」     掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし     オープンアクセス	
1 . 著者名 田口 太郎     2 . 論文標題     少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり     3 . 雑誌名     2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」     掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし     オープンアクセス     オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難      1 . 著者名 山本 朋佳,田口 太郎     2 . 論文標題     少人数社会における交通事業の持続可能な運営に関する研究     3 . 雑誌名     2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」      掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし      掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	
1 . 著者名 田口 太郎     2 . 論文標題     少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり     3 . 雑誌名     2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」     掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし     オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難     1 . 著者名     山本 朋佳,田口 太郎     2 . 論文標題     少人数社会における交通事業の持続可能な運営に関する研究     3 . 雑誌名     2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」     掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし     オープンアクセス	
1 . 著者名 田口 太郎  2 . 論文標題 少人口・多人数社会に向けた住民主体の活動づくり  3 . 雑誌名 2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 山本 朋佳,田口 太郎  2 . 論文標題 少人数社会における交通事業の持続可能な運営に関する研究  3 . 雑誌名 2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	

1.著者名	4 . 巻
山下 真美,田口 太郎	-
	5 3V/= /T
2.論文標題	5.発行年
少子高齢化社会での災害復興における地域おこし協力隊の可能性 	2022年
3.雑誌名	 6.最初と最後の頁
う・#### ロ   2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」	
2022年反日本连采子云入云辰代引回安复云屼九励俄云其科 但1000脸承に凹げて了 	64-67
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無 無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
後藤 紫穏子,田口 太郎	-
	- 7V (= 4-
2. 論文標題	5.発行年
中山間地域における高校での地域連携活動の可能性	2022年
3.雑誌名	6 早知と見後の百
3 . 稚誌石   2022年度日本建築学会大会農村計画委員会研究協議会資料「世代の継承に向けて」	6.最初と最後の頁
2022年反口平建栄子云人云辰門計 回安貝云屼九伽ᇠ云貝科・巴1、の継承に門げて」	68-69
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
なし	無無
	,
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	·
1.著者名	4 . 巻
田口 太郎	360
2 . 論文標題	5.発行年
地域おこし協力隊のこれまでと今後の方向性	2022年
	6.最初と最後の頁
3 . 推設句     月間「地方自治みえ」2022年 6 月号	0.取がこ取役の員 1-4
万间 地力自治の人」2022年 0万号	1-4
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
- なし	無 無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
田口 太郎	-
2 <del>2 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4</del>	F 3%/= F
2.論文標題	5 . 発行年
関係人口づくりの実践にあたって	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3.雜誌台 議員NAVI 2022年7月11日号	□ . 取別⊂取後の貝
城只NAVI	-
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	無無
<del>-</del>	,
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	,

1.著者名	A **
	4.巻
田口 太郎	72
o MANAGE	= 7V./= h=
2 . 論文標題	5 . 発行年
多様な主体による地域づくりを目指す立場から	2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Voters 72号	10-11
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
田口 太郎	585
2.論文標題	5.発行年
	2022年
地方と都市を結ぶ『関係人口』の機能を役割を考える	Z0ZZ <del>T</del>
2 株社夕	6 早知し早後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Green Age ,No.585	21-24
48 to the second of the second	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Abe Masami、Taguchi Taro	56
2.論文標題	5 . 発行年
The requirements for used as a place receiving diversity to community-life-shift training	2021年
programs at rescue organization	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of the City Planning Institute of Japan	234 ~ 240
Journal of the city Framming histricite of Japan	234 240
担耕給かのDOL/ ニジカリナイジーカト 地印フト	   査読の有無
	且前の日無
	<b>≠</b>
掲載論又のDOT (テンタルオフシェクト識別子) 10.11361/journalcpij.56.234	有
10.11361/journalcpij.56.234	
オープンアクセス	有 国際共著
10.11361/journalcpij.56.234	
10.11361/journalcpij.56.234 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
10.11361/journalcpij.56.234 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	国際共著 - 4 . 巻
10.11361/journalcpij.56.234 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
10.11361/journalcpij.56.234  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 田口 太郎	国際共著 - 4.巻 382
10.11361/journalcpij.56.234  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 田口 太郎  2 . 論文標題	国際共著 - 4.巻 382 5.発行年
10.11361/journalcpij.56.234 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 田口 太郎	国際共著 - 4.巻 382
10.11361/journalcpij.56.234  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 田口 太郎  2 . 論文標題 コロナ禍で期待される地域おこし協力隊の役割	国際共著 - 4 . 巻 382 5 . 発行年 2021年
10.11361/journalcpij.56.234  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 田口 太郎  2 . 論文標題 コロナ禍で期待される地域おこし協力隊の役割	国際共著 - 4 . 巻 382 5 . 発行年
10.11361/journalcpij.56.234  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 田口 太郎  2 . 論文標題 コロナ禍で期待される地域おこし協力隊の役割  3 . 雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 382 5 . 発行年 2021年
10.11361/journalcpij.56.234  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 田口 太郎  2 . 論文標題 コロナ禍で期待される地域おこし協力隊の役割	国際共著 - 4 . 巻 382 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
10.11361/journalcpij.56.234  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 田口 太郎  2 . 論文標題 コロナ禍で期待される地域おこし協力隊の役割  3 . 雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 382 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
10.11361/journalcpij.56.234  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 田口 太郎  2 . 論文標題 コロナ禍で期待される地域おこし協力隊の役割  3 . 雑誌名 月刊「地域づくり」2021年4月号	国際共著 - 4 . 巻 382 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 2-5
10.11361/journalcpij.56.234  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 田口 太郎  2.論文標題 コロナ禍で期待される地域おこし協力隊の役割  3.雑誌名 月刊「地域づくり」2021年4月号	国際共著 - 4 . 巻 382 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 2-5
10.11361/journalcpij.56.234  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 田口 太郎  2 . 論文標題 コロナ禍で期待される地域おこし協力隊の役割  3 . 雑誌名 月刊「地域づくり」2021年4月号	国際共著 - 4 . 巻 382 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 2-5
10.11361/journalcpij.56.234  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 田口 太郎  2 . 論文標題 コロナ禍で期待される地域おこし協力隊の役割  3 . 雑誌名 月刊「地域づくり」2021年4月号	国際共著 - 4 . 巻 382 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 2-5  査読の有無
10.11361/journalcpij.56.234  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 田口 太郎  2.論文標題 コロナ禍で期待される地域おこし協力隊の役割  3.雑誌名 月刊「地域づくり」2021年4月号	国際共著 - 4 . 巻 382 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 2-5

1.著者名	4 . 巻
田口 太郎	66
0 *A	F 38/- F
2.論文標題	5.発行年
関係人口創出・拡大にむけた地域の自治力について	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
電気のふるさと	
電気のかららと	6-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	<del>////</del>
+	<b>园</b> 柳 井 茶
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4.巻
—	_
田口 太郎	57
2.論文標題	5 . 発行年
過疎地域に住み続けるためのまちづくりと課題	2021年
たまやかっとうがに 口 ひとがにい ひ にくひ ひ ひ ノ ノ ソ こ 5大阪	2021+
2 10-5-7	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
│ JP総研リサーチ	20-29
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
<b>「オープンアクセス</b>	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
カープンプラビハではない、人はカープンプラビスが回報	
	T - W
1.著者名	4.巻
田口太郎	-
2.論文標題	5.発行年
今、なぜ「関係人口」なのか?【前編】	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
自治体行政の視点	_
日山州门政の抵急	
10 4044	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
	四   四
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
	<u> </u>
	4 . 巻
1 . 著者名	4 . 巻
	4.巻
1.著者名 田口太郎	-
1.著者名田口太郎 2.論文標題	4.巻 - 5.発行年
1.著者名 田口太郎	-
1.著者名田口太郎 2.論文標題	5 . 発行年
1 . 著者名 田口太郎 2 . 論文標題 今、なぜ「関係人口」なのか?【後編】	5.発行年 2020年
1 . 著者名 田口太郎 2 . 論文標題 今、なぜ「関係人口」なのか?【後編】 3 . 雑誌名	5 . 発行年
1 . 著者名 田口太郎 2 . 論文標題 今、なぜ「関係人口」なのか?【後編】	5.発行年 2020年
1 . 著者名 田口太郎 2 . 論文標題 今、なぜ「関係人口」なのか?【後編】 3 . 雑誌名	5.発行年 2020年
1.著者名         田口太郎         2.論文標題         今、なぜ「関係人口」なのか?【後編】         3.雑誌名         自治体行政の視点	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 -
1.著者名         田口太郎         2.論文標題         今、なぜ「関係人口」なのか?【後編】         3.雑誌名         自治体行政の視点	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 -
1.著者名         田口太郎         2.論文標題         今、なぜ「関係人口」なのか?【後編】         3.雑誌名         自治体行政の視点         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
1.著者名         田口太郎         2.論文標題         今、なぜ「関係人口」なのか?【後編】         3.雑誌名         自治体行政の視点	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 -
1.著者名 田口太郎         2.論文標題 今、なぜ「関係人口」なのか?【後編】         3.雑誌名 自治体行政の視点         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 無
1.著者名 田口太郎         2.論文標題 今、なぜ「関係人口」なのか?【後編】         3.雑誌名 自治体行政の視点         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス	- 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
1.著者名 田口太郎         2.論文標題 今、なぜ「関係人口」なのか?【後編】         3.雑誌名 自治体行政の視点         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 無

1.著者名	4 . 巻
田口太郎	-
2 . 論文標題	5.発行年
地域自治を担う地域人材育成の必要性	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
令和2年度過疎対策担当職員研修会 特別寄稿集	1-16
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
田口太郎	-
2.論文標題	5.発行年
農山村における「自治」の再定義	2020年
	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
2020年度日本建築学会農村計画委員会研究協議会資料	22-23
Committee of the commit	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	<i>/</i> ···
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
1 . 著者名	4 . 巻
田口太郎	542
нали	J
2 . 論文標題	5.発行年
- 1 mig (	2020年
26%02 他另一行无龙	2020—
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
通信 耀	34-36
<sup>보니</sup> 다 『唯	34-30
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
なし	無
	<del>////</del>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	
3 7777 EXECUTION ( 8/EX, CW) / CWO)	L
1.著者名	4 . 巻
1. 有有有   田口太郎	4 . 含   220
HHVM	220
2.論文標題	5.発行年
地域おこし協力隊 10年の成果と課題	2019年
3.雑誌名	 6.最初と最後の頁
ガバナンス 2019年8月号	32-34
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オーコン・ノクヤフグはだい ヘノナオーコン・フクヤフがは様	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	

1 . 著者名   阿部 正美、田口 太郎 	<b>4</b> .巻 54
2 . 論文標題 救護施設居宅生活訓練事業の有無にみる地域生活移行支援の相違	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 都市計画論文集	6 . 最初と最後の頁 878~884
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpij.54.878	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1.著者名 竹田 晴香、田口太郎	4 . 巻 398
2 . 論文標題 中山間地域における外部人材の役割変化と地域の受容・協働プロセスに関する研究	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 農村計画学会誌	6 . 最初と最後の頁 273-282
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 田口太郎	4.巻
2 . 論文標題 人口減少社会における多層的小規模少機能自治の可能性	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 2019年度日本建築学会大会(北陸)農村計画部門パネルディスカッション資料	6 . 最初と最後の頁 45-50
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
[学会発表] 計7件(うち招待講演 0件/うち国際学会 0件)	
1.発表者名   山本 朋佳,田口 太郎	
2.発表標題 中山間地域における交通サービスの住民参加による持続可能な運営に関する研究	
3. 学会等名 2022年度 農村計画学会 春期大会学術研究発表会	
4 . 発表年 2022年	

1.発表者名松本 卓也,田口 太郎,木下 咲月
2 . 発表標題 中山間地域における官民協働による政策推進の持続性に関する研究
3 . 学会等名 農村計画学会 2022 年度秋期大会 学術研究発表会 梗概集(於:愛媛大)
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 山本 朋佳,田口 太郎
2 . 発表標題 中山間地域小規模自治体における職員のDX推進に対する意識啓発に関する研究
3.学会等名 農村計画学会 2022 年度秋期大会 学術研究発表会 梗概集(於:愛媛大)
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 川田 実央,田口 太郎
2 . 発表標題 中佐感地域における関係人口創出・拡大プロセスにおける道場の役割に関する研究
3 . 学会等名 農村計画学会 2022 年度秋期大会 学術研究発表会 梗概集(於:愛媛大)
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 古谷 若葉, 田口 太郎
2 . 発表標題 地域密着型ゲストハウスのヘルパースタッフを経た移住の意義に関する研究
3.学会等名 農村計画学会 2022 年度秋期大会 学術研究発表会 梗概集(於:愛媛大)
4 . 発表年 2022年

1.発表者名後藤 紫穏子,田口 太郎	
2 . 発表標題 中山間地域における高等学校と地域社会の連携活動の意義	
3. 学会等名 農村計画学会 2022 年度秋期大会 学術研究発表会 梗概集(於:愛媛大)	
4 . 発表年 2022年	
1 . 発表者名 Taro TAGUCHI	
2. 発表標題 Issues and direction of community design in aging community at rural area	
3.学会等名 Joint seminar IFRJ– Hitotsubashi University – Paris-Dauphine University, Session 2: Ageing in Ja	apan and in Asia
4 . 発表年 2022年	
〔図書〕 計4件	
1 . 著者名 田口太郎	4 . 発行年 2023年
2. 出版社 英明企画編集260	5.総ページ数 <sup>260</sup>
3.書名 「農業と経済」2023年春号	
1.著者名 石塚直樹、三浦友幸、西城幸江、山根辰洋、小松理虔、澤田雅浩、田口太郎	4 . 発行年 2022年
2.出版社 みやぎボイス連絡協議会	5.総ページ数 66
3 . 書名 みやぎボイス2022 : テーブルF「復興における「地域」と「当事者」の範囲を考える」	

1 . 著者名   佐久間 康富、柴田 祐、内平   とみ、野村 理恵、姫野 由香	隆之、青木 佳子、岡田 知子、柴田 加奈子、清野 隆、田口 、藤原 ひとみ、八木 健太郎、山崎 義人	4 . 発行年 太郎、竹内 ひ 2023年
2 . 出版社 学芸出版社		5.総ページ数 176
3.書名 少人数で生き抜く地域をつく	రె	
1.著者名 田口太郎		4.発行年 2021年
2.出版社中国山地編集舎		5.総ページ数 2
3 . 書名 「ネットワーク型自治の時代	へ」(『みんなでつくる中国山地』)	
〔産業財産権〕 〔その他〕		
自治体行政の視点 2020.8 https://www.soumu.go.jp/main_contol 自治体行政の視点 2020.9 https://www.soumu.go.jp/main_conto		
氏名 (ローマ字氏名)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
(研究者番号) (研究者番号) (研究者番号) (研究者番号) (研究者番号) 7 . 科研費を使用して開催した国際研究集会 (国際研究集会 ) 計0件 8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況		
共同研究相手国	相手方研究機関	]